

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2017-80219(P2017-80219A)

【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-213523(P2015-213523)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月28日(2018.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な始動口と、
識別情報を表示可能な識別情報表示部と、
遊技の進行を制御する主遊技部と、
演出を表示可能な演出表示部と、
演出表示部への演出表示を制御する副遊技部と
を備え、
主遊技部は、
始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、
乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と、
或る保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る保留に係る前記乱数に基づき当否判定を実行し、当該当否判定の結果に基づき識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と、

識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示された後において、遊技者にとって有利な特別遊技を実行可能な特別遊技制御手段と、

副遊技部側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技情報送信手段と

を備え、通常遊技状態と通常遊技状態よりも所定の入球口へ入球容易となる特定遊技状態とを有し、特別遊技の実行終了後において特定遊技状態とし得るよう構成されており、

副遊技部は、

主遊技部側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、

遊技情報受信手段により受信された遊技情報を基づき、演出表示部にて表示する演出表示内容を制御する演出表示内容制御手段と

を備え、

新たな保留が生起したことを契機として新たに表示され且つ識別情報の変動表示開始条件が充足されたことを契機としてシフト表示される画像オブジェクトである変動権利画像

を演出表示部にて表示可能であり、変動権利画像の表示態様として複数種類の表示態様を有し、或る変動権利画像が表示されている期間中において当該或る変動権利画像における表示態様の種類を変更可能に構成されており、

特定の保留に係る特別遊技の実行期待度を示唆又は報知する先読み演出が実行されており且つ当該特定の保留よりも先行して識別情報の変動表示開始条件を充足する予定の保留である先行消化予定保留が生起している場合、遊技者の操作装置の操作によって特別遊技の実行期待度が示唆される操作演出の実行頻度は、当該特定の保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合における識別情報の変動表示中の方が、当該先行消化予定保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合における識別情報の変動表示中よりも高くなるよう構成されており、

演出表示部にて表示される背景表示の表示態様として、表示態様Aと表示態様Aよりも特別遊技の実行期待度が高い表示態様Bとを少なくとも有し、

表示態様Bにて背景表示が表示されている場合に表示されている識別情報の変動表示開始条件を充足していない保留に対応する変動権利画像の方が、表示態様Aにて背景表示が表示されている場合に表示されている識別情報の変動表示開始条件を充足していない保留に対応する変動権利画像よりも、表示態様の種類が変更される確率が高くなるよう構成されており、

変動権利画像の表示態様の種類が変更される可能性がある場合に実行可能な演出である特殊演出を有しております、

特殊演出は変化前の変動権利画像の表示態様である通常表示態様とは異なる表示態様の演出であり、変動権利画像が通常表示態様にて表示されている際に特殊演出が実行されると、特殊演出が実行されたうえで変動権利画像の表示態様の種類を通常表示態様から別の表示態様へと変更され得るよう構成されており、

特定遊技状態においては少なくとも特定種類の特殊演出を実行しないよう構成されているが、通常遊技状態においては前記特定種類の特殊演出を実行し得るよう構成されており、

変動権利画像が通常表示態様にて表示されている際に変動権利画像の種類を通常表示態様から別の表示態様へと変更しない場合であっても特殊演出を実行可能であり、通常遊技状態において特殊演出が実行されたにもかかわらず変動権利画像の種類が通常表示態様から別の表示態様に変更されなかった場合であっても、別の表示態様に変更されなかった通常表示態様の変動権利画像に対応する保留に係る識別情報の停止表示態様は前記所定グループに属する停止表示態様にて停止表示され得るよう構成されていることを特徴とするぱちんこ遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、

遊技球が入球可能な始動口と、

識別情報を表示可能な識別情報表示部と、

遊技の進行を制御する主遊技部と、

演出を表示可能な演出表示部と、

演出表示部への演出表示を制御する副遊技部と

を備え、

主遊技部は、

始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と

、
或る保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る保留に係る前記乱数に基づき当否判定を実行し、当該当否判定の結果に基づき識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と、

識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示された後において、遊技者にとって有利な特別遊技を実行可能な特別遊技制御手段と、

副遊技部側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技情報送信手段と

を備え、通常遊技状態と通常遊技状態よりも所定の入球口へ入球容易となる特定遊技状態とを有し、特別遊技の実行終了後において特定遊技状態とし得るよう構成されており、

副遊技部は、

主遊技部側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、

遊技情報受信手段により受信された遊技情報に基づき、演出表示部にて表示する演出表示内容を制御する演出表示内容制御手段と
を備え、

新たな保留が生起したことを契機として新たに表示され且つ識別情報の変動表示開始条件が充足されたことを契機としてシフト表示される画像オブジェクトである変動権利画像を演出表示部にて表示可能であり、変動権利画像の表示態様として複数種類の表示態様を有し、或る変動権利画像が表示されている期間中において当該或る変動権利画像における表示態様の種類を変更可能に構成されており、

特定の保留に係る特別遊技の実行期待度を示唆又は報知する先読み演出が実行されており且つ当該特定の保留よりも先行して識別情報の変動表示開始条件を充足する予定の保留である先行消化予定保留が生起している場合、遊技者の操作装置の操作によって特別遊技の実行期待度が示唆される操作演出の実行頻度は、当該特定の保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合における識別情報の変動表示中の方が、当該先行消化予定保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合における識別情報の変動表示中よりも高くなるよう構成されており、

演出表示部にて表示される背景表示の表示態様として、表示態様 A と表示態様 A よりも特別遊技の実行期待度が高い表示態様 B とを少なくとも有し、

表示態様 B にて背景表示が表示されている場合に表示されている識別情報の変動表示開始条件を充足していない保留に対応する変動権利画像の方が、表示態様 A にて背景表示が表示されている場合に表示されている識別情報の変動表示開始条件を充足していない保留に対応する変動権利画像よりも、表示態様の種類が変更される確率が高くなるよう構成されており、

変動権利画像の表示態様の種類が変更される可能性がある場合に実行可能な演出である特殊演出を有しており、

特殊演出は変化前の変動権利画像の表示態様である通常表示態様とは異なる表示態様の演出であり、変動権利画像が通常表示態様にて表示されている際に特殊演出が実行されると、特殊演出が実行されたうえで変動権利画像の表示態様の種類を通常表示態様から別の表示態様へと変更され得るよう構成されており、

特定遊技状態においては少なくとも特定種類の特殊演出を実行しないよう構成されているが、通常遊技状態においては前記特定種類の特殊演出を実行し得るよう構成されており、

変動権利画像が通常表示態様にて表示されている際に変動権利画像の種類を通常表示態様から別の表示態様へと変更しない場合であっても特殊演出を実行可能であり、通常遊技状態において特殊演出が実行されたにもかかわらず変動権利画像の種類が通常表示態様から別の表示態様に変更されなかった場合であっても、別の表示態様に変更されなかった通常表示態様の変動権利画像に対応する保留に係る識別情報の停止表示態様は前記所定グループに属する停止表示態様にて停止表示され得るよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係るぱちんこ遊技機は、
遊技球が入球可能な第一始動口（例えば、第1主遊技始動口A10）と、
遊技球が入球可能な第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）と、
閉状態と開状態とを採り得る可変入賞口（例えば、第1大入賞口C10、第2大入賞口C20）と、
第一識別情報を表示可能な第一識別情報表示部（例えば、第1主遊技図柄表示部A21g）と、
第二識別情報を表示可能な第二識別情報表示部（例えば、第2主遊技図柄表示部B21g）と、
遊技の進行を制御する主遊技部（例えば、主制御基板M）と、
演出を表示可能な演出表示部（例えば、演出表示装置SG）と、
演出表示部（例えば、演出表示装置SG）への演出表示を制御する副遊技部（例えば、副制御基板S）と
を備え、

主遊技部（例えば、主制御基板M）は、
第一始動口（例えば、第1主遊技始動口A10）への入球に基づき、第一乱数を取得する第一乱数取得手段（例えば、第1主遊技乱数取得判定実行手段MJ21A）と、
第一乱数取得手段（例えば、第1主遊技乱数取得判定実行手段MJ21A）により第一乱数が取得された場合、第一識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された第一乱数を一時記憶して、第一保留が生起するよう制御する第一乱数一時記憶手段（例えば、第1主遊技図柄保留手段MJ32A）と、
或る第一保留に関する第一識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る第一保留に係る第一乱数に基づく決定内容に従い、第一識別情報表示部（例えば、第1主遊技図柄表示部A21g）にて第一識別情報を変動表示させた後に第一識別情報を停止表示するよう制御する第一識別情報表示制御手段（例えば、第1・第2主遊技図柄制御手段MP11C）と、

第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）への入球に基づき、第二乱数を取得する第二乱数取得手段（例えば、第2主遊技乱数取得判定実行手段MJ21B）と、

第二乱数取得手段（例えば、第2主遊技乱数取得判定実行手段MJ21B）により第二乱数が取得された場合、第二識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された第二乱数を一時記憶して、第二保留が生起するよう制御する第二乱数一時記憶手段（例えば、第2主遊技図柄保留手段MJ32B）と、

或る第二保留に関する第二識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該或る第二保留に係る第二乱数に基づく決定内容に従い、第二識別情報表示部（例えば、第2主遊技図柄表示部B21g）にて第二識別情報を変動表示させた後に第二識別情報を停止表示するよう制御する第二識別情報表示制御手段（例えば、第1・第2主遊技図柄制御手段MP11C）と、

第一識別情報又は第二識別情報が所定グループに属する停止表示態様にて停止表示された後、可変入賞口（例えば、第1大入賞口C10、第2大入賞口C20）を遊技者にとって有利な状態とし得る特別遊技を実行可能な特別遊技制御手段（例えば、特別遊技制御手段MP30）と、

副遊技部（例えば、副制御基板S）側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部（例えば、副制御基板S）側へ送信する遊技情報送信手段（例えば、情報送信制御手段MT）と
を備え、通常遊技状態と通常遊技状態よりも第二始動口（例えば、第2主遊技始動口B10）へ入球容易となる特定遊技状態とを有し、特別遊技の実行終了後において特定遊技状

態とし得るよう構成されており、

副遊技部（例えば、副制御基板S）は、

主遊技部（例えば、主制御基板M）側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段（例えば、情報送受信制御手段SM40）と、

遊技情報受信手段（例えば、情報送受信制御手段SM40）により受信された遊技情報に基づき、演出表示部（例えば、演出表示装置SG）にて表示する演出表示内容を制御する演出表示内容制御手段（例えば、演出表示制御手段SM20）とを備え、

新たな第一保留又は第二保留が生起したことを契機として新たに表示され且つ識別情報の変動表示開始条件が充足されたことを契機としてシフト表示される画像オブジェクトである変動権利画像を演出表示部にて表示可能であり、変動権利画像の表示態様として通常表示態様と通常表示態様とは異なる特殊表示態様とを少なくとも含む複数種類の表示態様を有し、或る変動権利画像が表示されている期間中において当該或る変動権利画像における表示態様の種類を変更可能に構成されており、

或る変動権利画像における表示態様が特殊表示態様である状況にて、第一識別情報又は第二識別情報が前記所定グループのうちの特定グループに属する停止表示態様にて表示されて特別遊技が実行された場合、当該特別遊技終了後における前記或る変動権利画像は特殊表示態様となるよう構成されており、

或る変動権利画像における表示態様が特殊表示態様である状況にて、第一識別情報又は第二識別情報が前記所定グループのうちの特定グループ以外のグループに属する停止表示態様にて表示されて特別遊技が実行された場合、当該特別遊技終了後における前記或る変動権利画像は通常表示態様となるよう構成されていることを特徴とするぱちんこ遊技機である。